

## 開催日時・場所:

2021年10月14日 (9:00-10:30)・ CCH Hall Z

## 登壇者:

### ・モデレータ:

- Steve Dellenback, VP, R&D, 米国Southwest研究所 R&D ITS VP

### ・基調講演:

- Dr. Max Lemke, IoT部長, 欧州委員会 DG Connect

### ・スピーカ:

- Monali Shah, 戦略ビジネス Executive, 米国グーグル

- Christian Kaiser, CEO, 独VW Info Service, CEO

- Philip Tseng, Executive VP, 台湾 Far EasTone Telecommunications

- Shailen Bhatt, SVP for Global Transportation Innovation, 米国AECOM



## 基調講演： Dr. Max Lemke, IoT部長, 欧州委員会 DG Connect

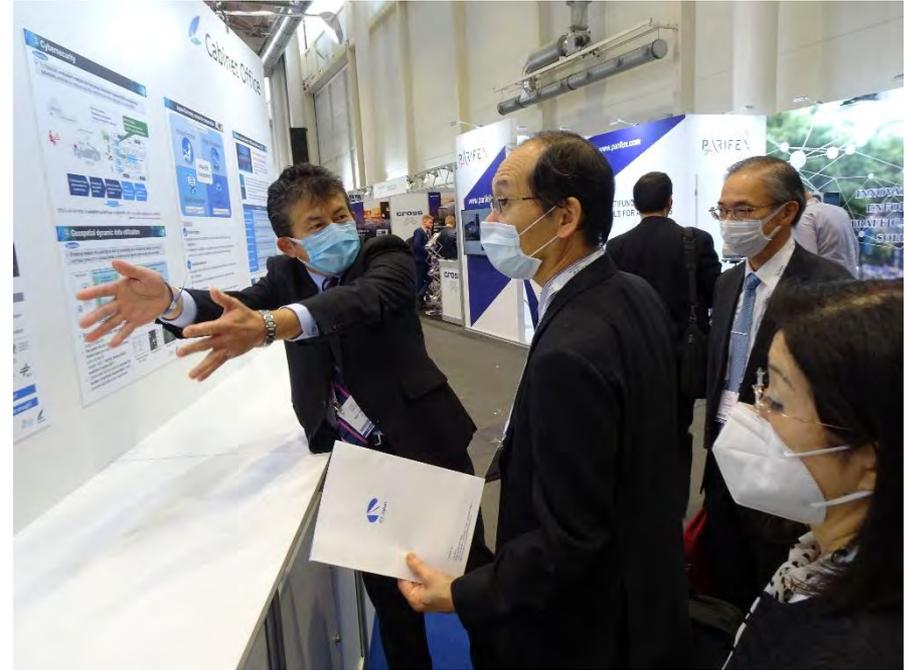
- ・欧州モビリティにおける3つの優先事項: 1) 欧州グリーンディール、2) デジタル化、3) 産業面でのリーダーシップ → データは、これら変革を実現可能にするために必要不可欠な要素 (Enabler)
- ・データ共有の課題: 多くの企業は競争上消極的、一部ハイテク企業による独占でデータが偏在。
- ・課題解決の為に**欧州委員会は法的枠組みを提案**:
  - デジタル市場法: データに基づく市場支配力を規制
  - データ・ガバナンス法: データへのアクセス権と使用に関する信頼性の確保、他
- ・欧州共通モビリティ・データ空間(MDS)は、国家アクセスポイント(NAP)及び独MDSや独Catena-Xなどの**既存団体で構成され、分野を超えて相互運用**されるべき。欧州共通MDSは、ガバナンスが必要なインフラであり、ビジネスモデル、バランス、共有が重要。

## パネル・ディスカッション:

- ・米グーグル: 大気汚染データ収集を始めており、**様々なデータを組合せ、都市計画や運営の意思決定**に役立てていきたい。
- ・独VWインフォサービス: 他のサービス提供者との交流は、世界の都市が抱える渋滞、経済、環境などの技術的課題に対して重要な役割を果たす。**独自の**”We Connect”エコシステムを強化する。
- ・米AECOM: モビリティ観点から情報共有するだけでなく、気候やコミュニティ、公平性の観点も重要。
- ・独MDS: 200以上の団体からなる非営利団体。2019/11発足
- ・独Catena-X: 独OEM3社とサプライア等によるデータ共有・アライアンス、2021/3-

# 展示 (Japan Pavilion)





在ドイツ日本国大使館 柳秀直 特命全権大使  
在ハンブルグ総領事館 加藤喜久子 総領事

# 展示(ドイツ・欧州他)



回	年	都市	回	年	都市	回	年	都市
1	1994	パリ	11	2004	名古屋	21	2014	デトロイト
2	1995	横浜	12	2005	サンフランシスコ	22	2015	ボルドー
3	1996	オーランド	13	2006	ロンドン	23	2016	メルボルン
4	1997	ベルリン	14	2007	北京	24	2017	モントリオール
5	1998	ソウル	15	2008	ニューヨーク	25	2018	コペンハーゲン
6	1999	トロント	16	2009	ストックホルム	26	2019	シンガポール
7	2000	トリノ	17	2010	釜山		2020	中止
8	2001	シドニー	18	2011	オーランド	27	2021	ハンブルグ
9	2002	シカゴ	19	2012	ウィーン	28	2022	ロサンゼルス
10	2003	マドリード	20	2013	東京	29	2023	蘇州

## 展示会場でのレセプション



## VIPディナー・クルーズ



## ガラ・ディナー



- ・“ワクチン接種証明” or “コロナからのリカバリー証明” 提示により受領  
(かなり丈夫で期間中付帯可能)
- ・ディナー時などでは着席時はマスク不要であるが、離席時は着用必須
- ・コロナ後の初めてのイベント(1W前に正式なハンブルグ市から許可)  
→良くマネジメントされていた印象有

# ITS世界会議 日EUジョイントセッション報告

## SIS38 : Connected & Automated Driving research cooperation between Europe and Japan



- ITS世界会議にて、SIP-adusと欧州委員会とのジョイントセッションを企画・実施。
- 日欧双方から政府の取り組み概要、Safety Assurance、FOTの取り組みを紹介し、日EU連携についても紹介いただいた。



### Moderator

Tom Alkim : Policy Officer, European Commission DG-RTD

### Speakers

Chie Fukushima (Manabu Umeda) : Director for SIP-adus, Cabinet Office

Tom Alkim : Policy Officer, European Commission DG-RTD

Satoshi Taniguchi (Manabu Umeda) : Leader of SIP-adus safety assurance, Toyota

Álvaro Arrúe : Headstart project coordinator, Project Manager, IDIADA

Masato Minakata (Takashi Oguchi) : FOTs theme leader of SIP-adus, Toyota

Marika Hoedemaeker : Ensemble project coordinator, Senior Project Manager, TNO

## SIS38 : Connected & Automated Driving research cooperation between Europe and Japan

### 主な発表内容

#### 1. National Research Project on Automated Driving to realize Society 5.0 - SIP-adus in Japan -

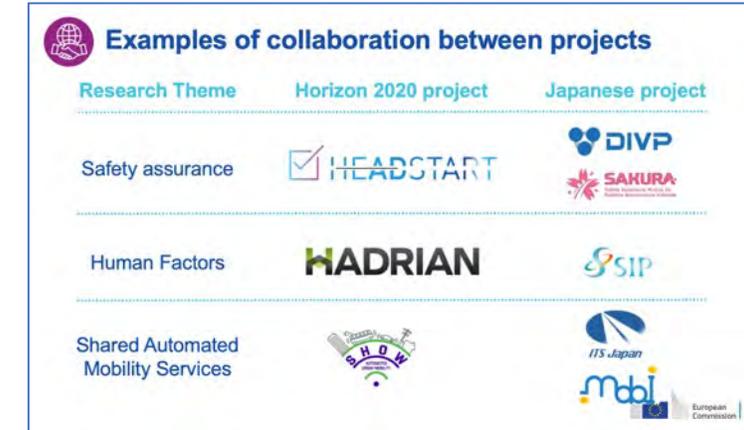
(内閣府 福島参事官 (梅田代理) )

- SIPの説明とSIP-adusの取り組み内容の紹介
- 国際連携活動として、日独・日EU連携活動を紹介

#### 2. Connected, Cooperative and Automated Mobility

(欧州委員会 (DG-RTD) Tom Alkim氏)

- Sustainable & Smart Mobility Strategy、CCAMパートナーシップの紹介
- Horizon2020のFlagshipプロジェクト、Horizon Europeの紹介
- 国際連携活動として、日米欧の自動運転三極会議の取り組み、日EU連携プロジェクトの紹介



Research Theme	Horizon 2020 project	Japanese project
Safety assurance	HEADSTART	DIVP SAKURA
Human Factors	HADRIAN	SIP
Shared Automated Mobility Services	SHOE	ITS-Japan mobi

#### 3. Automated Driving Safety Assurance Platform through EU-Japan cooperation

(トヨタ自動車 谷口リーダー (梅田代理) )

- 日本のSafety Assuranceの取り組みについて、シナリオデータベース (SAKURA) 、ヴァーチャル環境評価 (DIVP) の内容紹介
- Final remarkとして、HEADSTARTプロジェクトとの連携の話と、本成果は欧州をはじめ世界中の専門家との連携活動によるものであることを説明

### 主な発表内容

#### 4. SAFE-UP & HEADSTART International cooperation with Japan

(IDIADA Álvaro Arrúe氏)

- 全ての道路ユーザのための新しい安全ツール、技術を開発する“SAFE-UP”プロジェクトとHEADSTARTプロジェクトの内容紹介
- 日本との連携活動として、SAKURA & SIP-adusプロジェクトとの連携、現在取り組んでいるWhite paperの状況紹介

#### 5. SIP-adus FOT in Tokyo waterfront area

(トヨタ自動車 南方リーダー (大口先生代理))

- SIP-adusの東京臨海部実証実験の取り組み内容紹介。実証実験には欧州メーカーも参加
- 最後に地方部での実証実験の取り組みとして、道の駅実証実験の概要を紹介

#### 6. ENSEMBLE - Enabling safe Multi-Brand Platooning for Europe (TNO Marika Hoedemaeker氏)

- Horizon 2020で実施しているトラック隊列走行の大規模実証実験プロジェクト、ENSEMBLEの概要紹介
- 2週間前にFinalデモを行い、実環境で7つの異なるトラックメーカーでの隊列走行を実施
- プロジェクトは22年3月で終了予定。3月にベルギーでFinalイベントを実施



※全てのプレゼンが終了した時点でセッション終了時間となり、個別の論議は行わずに終了